

緩和ケア病棟における医療の経済評価のため、当院に入院された患者さんの電子カルテや診療報酬データを用いた医学系研究に対するご協力をお願い

当院では、ご病気で入院・通院された患者さんの電子カルテや診療報酬データを用いた以下の医学系研究を実施しますので、ご協力をお願いいたします。本研究にあたっては、京都市立病院臨床研究倫理審査委員の承認及び病院長の許可のもと、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針及び法令を遵守して患者さんのプライバシー保護に留意して実施します。

**本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「⑬お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。**

① 研究課題名	緩和ケア病棟における医療資源投入の経済評価に関する研究		
② 実施期間	2026年5月21日（研究実施許可日）～2028年3月31日		
③ 対象となる方	2023年1月1日より2025年12月31日までの間に、緩和ケア病棟において、治療のため入院し、診療、手術、検査、リハビリなどを受けた方		
④ 研究実施機関及び研究責任者	研究実施機関	所属	研究責任者
	北海道大学大学院保健科学研究院	基盤看護学分野	大日方裕紀
	研究代表者	所属	氏名
	京都市立病院	がん医療連携センター／患者支援センター	松村優子
	研究分担者		
	同上	事務局	村松高志
		薬剤部	小野勝
		看護部	池田零
		看護部	東由加里
		看護部	吉田克江
		がん医療連携センター	宮原亮
		がん医療連携センター	山岡薫・前野加奈
	共同研究機関		氏名
	東北大学医学系研究科保健学専攻緩和ケア看護学分野		宮下光令
	TXP Medical 株式会社		富樫慎太郎
⑤ 本研究の意義、目的、方法	<p><b>【研究の目的】</b></p> <p>本研究の目的は、緩和ケア病棟における医療の経済的な評価を行なうことです。これまで緩和ケア病棟に入院された患者様の電子カルテや診療報酬に関する過去のデータを用いて評価することによって、緩和ケアの費用や今後の持続的な緩和ケア質向上に向けた検討を行ないます。</p> <p><b>【研究方法】</b></p> <p>本研究デザインは、過去に緩和ケア病棟に入院された患者様のデータを用い</p>		

	<p>で行います。データ収集は、研究実施機関の許可が得られた電子カルテおよび診療記録から研究責任者が収集します。なお、データの取り扱いについては、データを管理する病院のルールを遵守します。また、電子カルテおよび診療報酬データはすでに匿名化されたデータであり、患者様の氏名や住所等の個人が特定できる情報は記載されていません。これらの得られたデータは、パスワードを付けたファイルをSSDに入れ、授受します。</p> <p>分析は、これまで行われてきた研究を参考に実施します。分析の主な目的は、緩和ケアの臨床状況を評価した指標を用いて患者をグループ化し、グループ間での差を明らかにすることです。評価項目は、①緩和ケアとして行われた費用全体の分析、②緩和ケアの直接的な治療の費用（例えば、治療によって生じる検査や症状緩和のために用いられる薬剤など）、③間接的な費用の分析（例えば、個室代や食費など）を行いません。また、支払いの費用は保険により変化するため、分析上は10割負担として算出します。</p>
⑥使用する資料・情報及び協力をお願いする内容	<p>2023年1月1日より2025年12月31日までの間に、緩和ケア病棟において、治療のため入院した方を対象に、診療、手術、検査、リハビリなどを受けた診療報酬データや電子カルテにおいて臨床状況のデータを使用します。</p> <p>具体的には以下の通りです。</p> <p>緩和ケア病棟に入院した期間の診療記録（緩和ケアの病期、日常生活自立度、症状評価スケールなど）</p> <p>診療報酬データから対象者の背景に関する項目（年齢、性別、身長、体重、意識レベル、主傷病名、入院時併存症、入院後発症疾患、がんの進行度、Performance Status、日常生活自立度、入院経路、救急車搬送の有無、退院先、退院事由、など）</p> <p>診療報酬データから緩和ケアの経済評価に関する項目（薬剤費、処置・手技費、検査費、特定保健医療材料費、入院基本料の算定に関する項目など）</p>
⑦臨床研究倫理審査承認日	2026年5月21日
⑧研究計画書等の閲覧等	<p>本研究計画書及び研究の方法に関する資料は、他の研究対象者等の個人情報、知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。</p> <p>詳細な方法に関しては「⑬ お問い合わせ」にご連絡ください。</p>
⑨結果の公表	日本緩和医療学会（2027年6月18日－19日開催で発表予定）
⑩プライバシーの保護について	<p>本研究で取り扱う患者さんの電子カルテや診療報酬データは、個人情報がすべて削除され、第3者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。患者さんの個人情報と匿名化した電子カルテや診療報酬データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。</p> <p>なお、連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開い</p>

	たしません。
①研究の資金源	本研究は 公益財団法人 SGH がん看護助成金によって支出されています。
②利益相反	本研究を実施するにあたり、開示すべき利益相反はありません。
③お問い合わせ	<p>本研究に関する質問や確認のご依頼は、以下へご連絡ください。</p> <p>また、本研究の対象となる方又はその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）から、電子カルテや診療報酬データの利用の停止を求める旨の申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も以下へのご連絡をお願いいたします。</p> <p><b>【お問い合わせ先】</b> 研究代表者：松村 優子 所属：京都市立病院 がん医療連携センター／患者支援センター 連絡先：Tel：075-311-5311(代) 平日 8：30～17：15</p> <p>(研究実施機関) 研究責任者：大日方 裕紀 所属：北海道大学大学院保健科学研究院 基盤看護学分野 連絡先：Tel：011-706-3499Email：hinata@hs.hokudai.ac.jp</p>